

# 豊郷町隣保館だより

2026年1月23日発行 豊郷町隣保館 ☎0749-35-0611 No.261



ガイドさんの案内でまち歩き  
もしました (2015/7/31)



『あの日 あのときを忘れない』

↳ 阪神淡路大震災から三十一年

Ⅱ かつての避難所は震災体験学習の場に

一九九五年一月十七日の五時四十六分、阪神・淡路大震災が発生、あれから三十一年を迎えました。写真は、震災直後の神戸市長田区の二葉小学校前です。校舎の上空には、火災による黒煙が立ち昇り、多くの人たちが学校に集まりました。この後、二葉小学校は避難所となり、被災された人たちが身を寄せ合い、不安のなかで共に生活をしていました。

二葉小学校は、一九二九（昭和四）年に豊郷小学校旧校舎群を設計したヴォーリズによって建設されました。同じ建築家によって建てられたこの小学校は、戦災や震災といった数々の困難を乗り越えてきた歴史ある学校であり、私たちの豊郷小学校旧校舎群とよく似ています。そんな二葉小学校ですが、二〇〇八年に地域の人たちに惜しまれつつ、残念ながら校舎としての歴史に幕を下ろしました。

校舎はそのまま保存され、現在は『ふたば学舎』として歴史・文化の継承や震災体験学習など、学びの場として存在しています。隣保館でも『震災体験学習』として二〇一三年から四年間、旧二葉小学校に出向き、体験者の方のお話を聴いたり、まち歩きなどの体験を通して『あの日 あのときを忘れない』という想いを重ねてきました。

神戸市の追悼のつどいでは、地震の発生時刻に合わせて、あの日の記憶を『つむぐ』静かな祈りがさげられました。震災を乗り越え、地域の避難拠点として多くの人々を支えてきたこの校舎は、これからも祈りを紡いでいく場として存在していきます。